

MI_2075 : 床置き型ユニットのガスホース - 取外しと取付け

iCombiガス式
20-1/1、20-2/1

30分



必要な工具を参照



2023/10/11

テーマ

ここでは、床置型ユニットのガスホースの取り外しと取り付けについてご説明します。

対象となる製品 / アクセサリー

iCombi ProとiCombi Classic ガス式 :

- 20-1/1
- 20-2/1

必要な工具

- 標準
- トルクスパナ
- スパナ サイズ30、25Nm。(Atlas Copco CWR)

必要となるコンポーネント

コンポーネント :	品番 :
ガス接続 20-1/1 G	70.01.609S
ガス接続 20-2/1 G	70.01.610S

一般情報

RATIONAL機器に取り付けられたガス部品には、部品製造者の文書が適用されます：

注記

使用前に、部品製造者の文書およびRATIONALの情報を必ずお読みください。

この資料はQR コードまたはリンクからアクセスできます。



図 8: QR-Code_jp

https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3_dokumentationen/icombi_pro__icombi_classik/beipack/divers_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten_jp.pdf

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

危険

高圧電源に接続する場合

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

本体の鋭いエッジ

電装部内のボディーの鋭いエッジで切り傷をこうむるおそれがあります。
保護用手袋を用いてください。

注記

ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。

漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。

修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項:

- 「安全上の注意事項」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。
- 「作業ステップ - 床置き型ユニットのガスホースの取り付け」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。

作業ステップ - 床置型ユニット型のガスホースの取り外し

- ✓ ユニットが非通電状態で、電装部が開けられている。
- 1. ガス排気の位置（スチーム、上部ホットエアー、下部ホットエアー）は、20-1/1と20-2/1で同一であることにご注意ください。ガス弁へのガスホースのケーブル配管だけが異なります。
- > iCombi 20-1/1 ガス式の電気装備エリア：



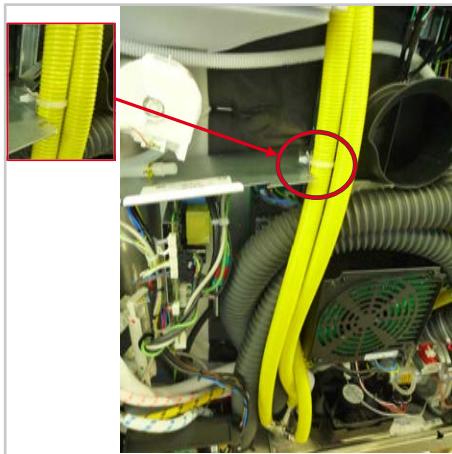
> iCombi 20-2/1 ガス式の電気装備エリア :



2. ガス排気のフレッシュエア用ホース（スチーム）を引っ張って取り外します。
3. ガス排気のフレッシュエア用ホース（上部と下部ホットエア）を引っ張って取り外します。

iCombi 20-1/1 ガス式に適用 :

1. 両方のガスホースを保持プレートに固定している拡張フック付きケーブルタイを切ります。拡張フック付きケーブルタイを保持用の穴から取り外します。



2. スパナ（サイズ30）を用いて、ガス弁（スチーム）のガスホースを外します。



3. iCombi 20-1/1と20-2/1では、スパナ（サイズ30）を用いて両方のガスバルブ接続（ホットエアー）のガスホースを外します。



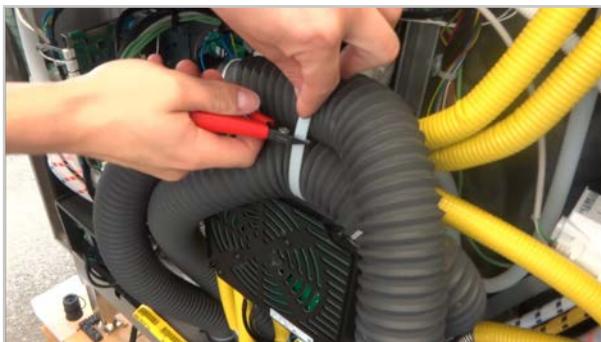
4. ガスホースインレットを固定している2本のネジを取り出します。ガスホース全体を取り出します。



5. 古いガスホースを新しいガスホースと交換します : iCombi 20-1/1 G
(品番 : 70.01.609S、iCombi 20-2/1 G (品番 : 70.01.610S))。

iCombi 20-2/1 ガス式に適用 :

1. 空気ホースを固定しているケーブルタイを取り外します。



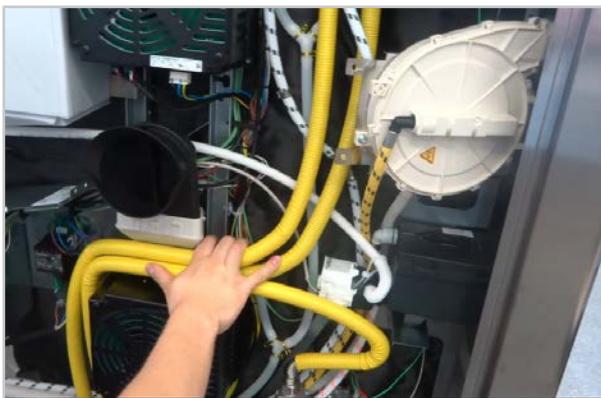
2. その後ろにある黄色いガスホースを取り外します。



>> これで取り外しの完了です。

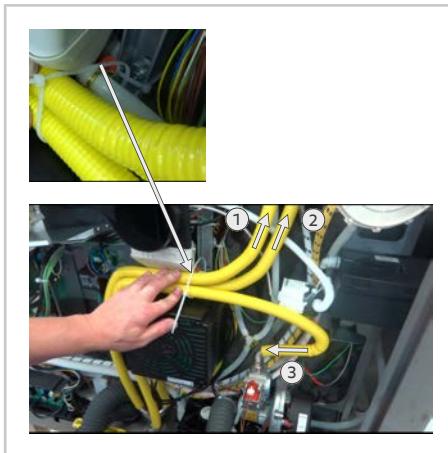
作業手順 - 床型ユニットでのガスホースの取り付け

1. 取り付けは逆の順序で行います。
2. ガスホースインレットを底板の正方形の穴に差し込みます。これを2本のネジで固定します。
3. iCombi 20-2/1 G 用のガスホースは、以下の指示に従って配置してください。
 - > ガス弁（スチームと上部ホットエラー）につながる2本のホースをまず上向きに配置します。ホースがきちんと配置され、電気部品と交差しないように、ユニット内の電気部品の輪郭と角に合わせてホースを曲げます。
 - > ガスホースをガス弁（下部ホットエラー）まで通し、ガスホースがファンモーターの周りに適切な輪郭を作り、ファンモーターと交差しないように、ガスホースを曲げます。



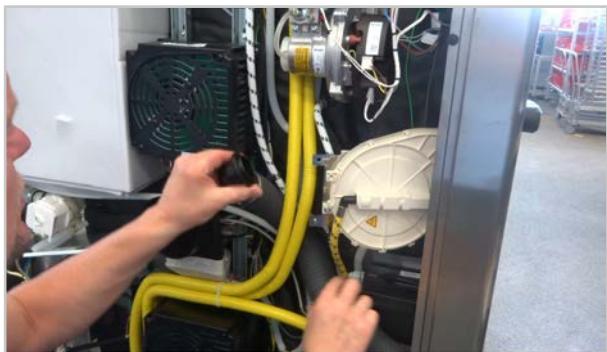
- > 以下の図のようにガスホースを配置し、ケーブルタイを使用してガスホースの束を固定します。ケーブルタイは、図に示すように、金属製の支柱に既にあるケーブルタイのループに通す必要があります。また、怪我

やガスホースの切傷を避けるため、ロックが図の位置にあることを確認してください。次に、ケーブルタイを締めます。ロックの突き出ている部分は、ロックのできるだけ近くで切断します。



1	ガス弁へ（スチーム）
2	ガス弁へ（上部ホットエアー）
3	ガス弁へ（下部ホットエアー）

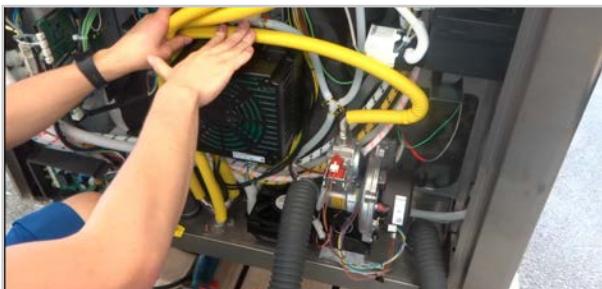
> ガス排気（上部ホットエアー）用のエアホースを、両方のガスホースの下にくるように通します。



- > 残りの2本の空気ホースを次のように配置し、同じくケーブルタイ（ここでは矢印で示されています）で、金属製の支柱にあるケーブルタイのループに固定します。
重要：ホースにマークを付けた2つの穴は必ず空けておいてください。（ここでは丸で囲まれています）。



4. iCombi 20-1/1 G 用のガスホースは、以下の指示に従って配置してください。
- > 短い方のガスホースを下部ファンモーターの周りを通してガス弁（下部ホットエア）まで配置します。



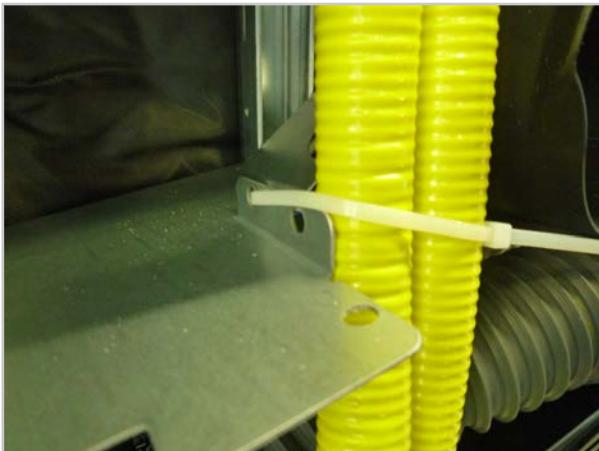
- > ガス排気（上部ホットエアー）用の空気ホースを接続します。残りの空気ホース2本を以下のように配置し、ガス排気（スチームと下部ホットエアー）にも接続します。
- 重要：**ホースにマークを付けた2つの穴は必ず空けておいてください。（ここでは丸で囲まれています）。



- > 長いガスホース2本（スチーム、上部ホットエアー）を上に向けて配置します。



- > ガス弁（スチーム、上部ホットエアー）につながる2本の上向きのガスホースを、ケーブルタイでホルダープレートに固定します。



- > 両方のガスホース（以下に適用：iCombi 20-1/1 と node:234187193291459083101520-2/1）をガス弁（スチームと上部ホットエアー）に接続します。加湿ノズルが脇に押し出されず、ガス弁へのガスホース（上部ホットエアー）がガスバーナーに接触しないように、正しく配置してください。



- > ユニットサイズ20-1/1、20-2/1では、ガスホースをガス弁（ホットエア一およびスチーム）に接続するために、オープエンエンドスパナ（サイズ20）とトルクススパナ（サイズ30、25Nm）が必要となります。
重要: オープンエンドスパナはホースではなく、ナットにのみ当てがいります。



5. 改修後、漏れ試験と排ガス分析を行ってください。
注記: ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。
6. 連結部接続を再びシーリングしてから、サイドパネルを再び取り付けることができます。

>> 取り付けは完了です。

